|  |  |
| --- | --- |
|  | 講演要旨原稿サンプル（9ポイント）  Sample for GRSJ abstract in 9pt  青葉　山・広瀬　川（北東大・工）・地熱　仁（南西大・理）  Y. Aoba, G. Hirose and J. Chinetsu |
|  | |
| １．はじめに  これは，本文に9ポイントを使用する場合のサンプルです。タイトルおよび著者名は必ず12ポイントで作成してください。本文は9ポイント以上12ポイント以下で作成してください。本サンプルでは，10ポイントMSゴシックのセクション見出しを使用していますが，フォントの種類，見出しの使用は任意ですので必要に応じて変更してください。  ２．方法  1）用紙：A4判用紙1ページ。上下左右の余白を20 mmとし，横170 mm，縦256 mmの枠内にワープロを使用して書く。2）表題：左上隅（20 mm×20 mm以上）を空けて書く。フォントサイズは12ポイントとする。複数行になってもかまわない。和文表題の次の行に英文表題を書く。3）著者名，所属：英文表題の次の行は空白とし，その次の行に右づめで書く。フォントサイズは12ポイントとする。左端が表題の左側より左にくる場合は複数行とする。この場合，2行目以降の左端は1行目に揃える。著者名の次にかっこ内に所属（分かる限り略記）を書く。著者のローマ字綴りをその次の行に書く。4）本文：**ローマ字綴り著者名の次の行は空白とし，本文はその次の行から始める**。フォントサイズは9ポイント以上12ポイント以下とする。5）提出： PDFファイルを作成し，参加登録・研究発表申し込みサイトにおいて，発表申し込みと同時にアップロードする。PDF作成時に，フォントは「すべて埋め込む」と設定する。外側の枠線は不要。発表の表題，発表者（連名者の順序を含む）がウェブでの申し込み入力と講演要旨とで同一であることに注意すること。6）図，表，写真：仕上がりはグレースケールとなる。図表等は，線種や塗色・地紋に配慮したモノクロの原稿とすること。7）著作権：投稿された講演要旨の著作権は，日本地熱学会著作権規定に従い学会に帰属する。8）問い合わせ先：日本地熱学会学術講演会ヘルプデスク　grsj-desk@conf.bunken.co.jp  ３．結果  日本地熱学会では，年1回（例年は秋），学術講演会を開催しております。学術講演会の内容は以下のとおりです。会員による一般研究発表（口頭・ポスターセッション）地熱に関連するあらゆる分野にわたります。オーガナイズドセッション。特に注目されるテーマについて，講演やパネルディスカッションを行います。  ４．考察  総会。学会賞受賞者講演。学会賞のうち論文賞受賞者が講演を行います。夜間小集会。有志会員による研究会です。現在，「貯留層研究に関する小集会」「地熱地質・地化学研究会」の2つが活動しています。見学会。開催地近辺に地熱利用施設や地熱地帯がある年には見学会（日帰り）が行われます。懇親会。一般向けイベント（一般公開講演・展示など）。そのほか，特別講演などが行われる場合があります。  日本地熱学会では，年1回（例年は秋），学術講演会を開催しております。学術講演会の内容は以下のとおりです。会員による一般研究発表（口頭・ポスターセッション）地熱に関連するあらゆる分野にわたります。オーガナイズドセッション。特に注目されるテーマについて，講演やパネルディスカッションを行います。  ５．まとめ  総会。学会賞受賞者講演。学会賞のうち論文賞受賞者が講演を行います。夜間小集会。有志会員による研究会です。現在，「貯留層研究に関する小集会」「地熱地質・地化学研究会」の2つが活動しています。見学会。 | |